

企 画 名 : ミツバチからのメッセージ

団 体 名 : NPO 法人 F.O.P

1. 報告要旨

みつばちの大量死を描いた物語「だれもしらないみつばちのものがたり」(著者 後藤純子さん)を原作としたダンスミュージカルの制作を行なった。近年、環境・社会問題を取り上げたドキュメンタリー映画等の作品は多いが、既にそういった問題に関心のある人が情報を得ており、無関心層にはなかなか伝わっていない現状である。もっと多くの人に知ってもらうことが必要と考え、「ダンス」という切り口で今まで環境問題等に関心のなかった若者を中心に参加の呼びかけを行なった。参加者は、地元のダンススクールに通う子供から社会人、ダンス未経験者、計 61 名が出演。参加アーティストは、伊那谷に暮らしながら国内外で活動しているミュージシャン 20 名。みつばちの暮らし・生態、ネオニコチノイド問題のことを知らなかった参加者だったが、養蜂家(原作者)によるお話、伊那谷の有機農家さんのお話や農業体験等を行ない学ぶことができた。その後、自らみつばちのことやネオニコ問題について調べたり、新聞の記事を見つけ、参加者内でシェアをしたり、それぞれが情報発信を行うようになっていった。

公演日は、みつばちマーケットも同時開催し、みつばちにも人間のカラダにも優しい食べ物、品物を扱う生産者の方々による出店もあった。ネオニコチノイドについての展示設営、資料を舞台プログラムパンフレットに入れ配布を行なった。

子供から年配の方まで、多くの方に観てもらえるよう内容を工夫。来場者は計 600 名で二部とも満席。家族、地元の年配の方々、養蜂家さん、農家さんなど、年齢も職種も様々な方々に観てもらうことができた。

新聞一面記事となり、再演の依頼も頂き、まずは多くの方に知ってもらうという目標の第一歩を踏み出せた。

今後ダンスミュージカル制作の様子、当日の舞台を映像化し、2015 年度中に伊那谷にて上映会を行ない、その後全国各地でも「知る・見る・体感する」上映会企画を各地の活動とコラボレーションして開催していく予定。

2. 成果物

1. 養蜂家への聞き取り調査まとめ
2. 学習会向け資料
3. 学習会、ワークショップ、練習過程の様子を伝える映像作品の制作
4. [募集チラシ](#)
5. [ダンスキャンプチラシ](#)
6. [公演チラシ・ポスター](#)
7. [当日パンフレット](#)
8. [『みつばち』テーマの舞台公演 陣馬形山でロケ撮影](#)長野日報(2014.9.29)
9. 「みつばちの生態伝える ロケ完了」南信州新聞(2014.9.30)
10. [「中川で来月 8 日『みつばち』ミュージカル」](#)長野日報(2015.2.19)
11. [「みつばち大量死テーマにミュージカル 人の暮らし演劇で問う」](#)朝日新聞長野版(2015.3.3)
12. [『命のつながり』みつばち熱演](#)長野日報(2015.3.10)
13. 「いのちのつながり伝える ダンスミュージカル舞台公演」南信州新聞(2015.3.10)